



しらた満 (青空りっけん)

1. 令和6年地方自治体持続可能性分析レポートから多摩市の将来について
2. 教育をフラッグシップにした街へ

問 行政経営を継続するために必要な人口最低数と高齢化率は何%か。

答 一概に線引きする事は難しいと考えている

問 日医大の移転・建設計画は白紙撤回となり移転場所には5.1億円の市税が投入された。今後の計画を問う。

答 日医大の候補地は断念せざるを得ない。今後も永山駅周辺の再構築は地権者の皆様と検討を進め、URの住民の方々とも意見交換を進める。

問 GTEC (英語4技能検定) の令和5年度の結果はCEFR・A1レベルに93.5%の生徒が到達しており全国で1番に近づいた。多摩市の生徒の現状について問う。

答 小中学校では、令和5年度、多摩市国際交流センターや市内団体等から外国の方々をお招きし、自ら進んでコミュニケーションを図ろうとする態度や国際感覚の醸成へと充実・発展してきている。

問 あたごSpace開設後の生徒の様子について問う。

答 在籍生徒の平均出席率は約80%で大きな成果である。



池田桂 (日本共産党)

1. 高齢者が住み慣れた地域でいきいきと安心して住み続けられるために
2. 多摩市らしい地域共生社会の実現

問 現在、訪問介護のヘルパーさんが不足している中で、外出が困難な要介護の高齢者が「必要な介護のサービス」を適切に利用できる対策があるのか伺う。

答 市内の介護保険事業所に対する人材確保及び定着を図ることを目的として、介護初任者研修、介護福祉士実務者研修に係る費用の補助を行っている。

問 認知症の進行予防や、地域理解を進めるうえで、認知症の方の活動の場を増やす取組みが必要であるが、多摩市での取組みの状況や今後の展開について伺う。

答 認知症支援推進員や、ボランティアとして認知症の方に伴走する「オレンジパートナー」の協力を得ながら、地域で集う場の継続、創出や認知症当事者の地域での活動を広げる取組みを行っている。

問 市内の小中学校や高校、近郊の専門学校や短大・大学との地域活動の連携の現状と、今後の展開を伺う。

答 小中学校の「地域未来塾」、多摩大学附属聖ヶ丘高校や大妻女子大・多摩大学のゼミと協働している。



市役所の建替えに向けて

～多摩市役所本庁舎建替基本計画特別委員会中間報告～

「議会エリア 議会案」含めた骨子案、まとまる

すでに建替えが行われた近隣3市の視察をふまえ、委員間で議論を重ね、合意できる点を改めて整理し、1月末日「基本計画議会エリアの議会案」を市側に送付いたしました(多摩市議会ホームページに記載)。

基本計画全体の骨子案について、全議員説明会で説明を受けたのちの3月の委員会では、今回見送ることになったPFI手法の総合評価について、本庁機能・駅近機能・地域機能の役割分担や、防災指令拠点機能についてなど確認をしました。

「基本計画素案」示される

4月27日、5月11日に開催した春の議会報告会では、庁舎の現状や建替えの経緯を含め説明・報告をさせていただきました。6月17日には計画の素案が市側より提示され、事業手法や規模、事業費など重要な事項が示されたことから、6月20日に全議員説明会を開催し、共有を図ったのち、委員会を開催。事業手法である基本設計先行型デザインビルド方式について、事業費をおさえるためのコンストラクション・マネジメントについて、庁舎の配置計画について、財源の確保見込みや総面積(1万8,300㎡)の適正についてなど、活発な質疑があり、確認されました。今後も必要な情報は議会全体で共有し、議論を深めてまいります。



現在の多摩市役所本庁舎